

「かんさいぼう」をつかったちりょう のおはなし



くしろこうじんかいきねんびょういん

1. はじめに

これから「かんさいぼうのちりょう」のおはなしをします。

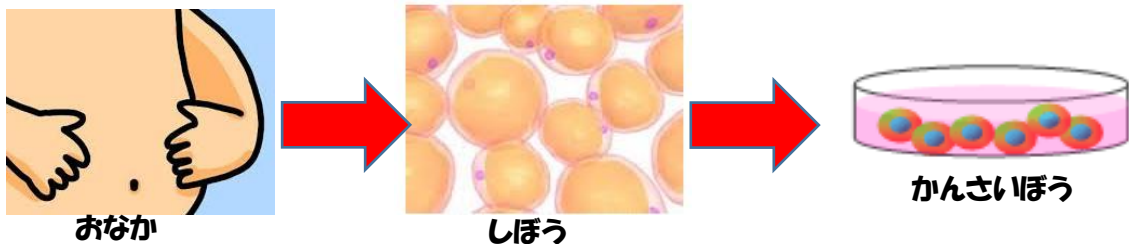
よくきいて、このちりょうを受けたいとおもったら、おとうさんやおかあさん、せんせいにそのことをいってください。

わからないことがあれば、どんなことでもきいてください。

2. 「かんさいぼう」って？

「かんさいぼう」は きずついているところにあつまって、わるいところをなおす ちからをもったさいぼうです。

「かんさいぼう」は、おなかやおしりの“しぼう” にたくさんあるといわれています



3. どんなことをするの？

さいしょに、あなたが「かんさいぼうのちりょう」を受けられるかどうかをけんさします。

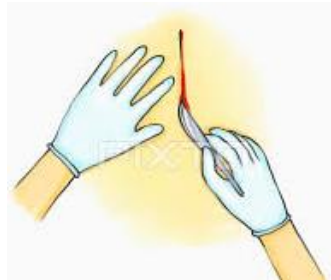
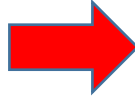


けんさがおわって、ちりょうを受けてもだいじょうぶなのがあったら、おなかからしぼうをとるしゅじゅつをします。

1 ねんたってからまた、「かんさいぼうのちりょう」を受けるときには、またけんさをします。けんさのけっかがよくなかったり、さいぼうがふえないときは、「かんさいぼうのちりょう」ができません。

4. おなかのしゅじゅつ

おなかをすこしだけきって、しぼうをとります。



しゅじゅつで ちょっと きいます

いたくないようにおくすりをぬりますが、ちょっとチクツとするかもしれません。
いたかったらがまんしないでいってください。

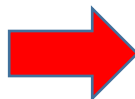
5. かんさいぼうのばいよう

「かんさいぼう」をバイキンのはいらない、とくべつなおへやでふやします。

「かんさいぼう」をふやすことを「ばいよう」といいます。



かんさいぼう



ふやしているところ

いっぱいになるまで6しゅうかんくらいかかります。

6. てんてきまえのけんさ

「かんさいぼう」がいっぱいになったら、てんてきをします。

そのまえにけんさをして、てんてきしてもだいじょうぶか、しらべます。

それから、からだのうごきを見て、いまできること、できないことをはかります。



しんぞうのけんさ



からだのうごきをみます

7. てんてき

けんさがおわったら いよいよ かんさいぼうのてんてき になります。

てんてきは1じかんくらいでおわります。おわって、1じかんほどやすんだら おきあがっていいです。

そのあいだ、たべたり、のんだり、トイレに行くことができません。

*もし、てんてきのあいだに きもちがわるくなったら がまんしないでそばにいるかごしに はなしてください。



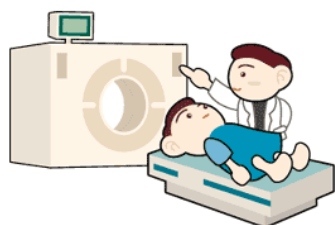
8. リハビリテーション

てんてきがおわったら、もっとよくなるようにリハビリテーションといって、できなくなったことや、むずかしくなっていることができるようになるよう れんしゅうをします。



9. きまったひにびょういんにきてください

てんてき と リハビリテーションの あと、びょういんからおしらせするひに きてもらって、けんさをします



けんさ



からだのうごきをみます

*けんさをして、かんさいぼうのちりょうがきいているか、まえよりも わるくなったところはないかどうかをみます。

10. こんなことがあるかもしれません

<よいこと>

「かんさいぼう」のちりょうをすると、いたいところやしびれているところが、よくなるかもしれません。

また、うごかなかった^て手や^{あし}足がうごくようになるかもしれません。

<よくないこと>

「かんさいぼう」のちりょうで、おなかがいたくなったり、じんましん（ぶつぶつ）が出るかもしれません。

もし、いつもとちがうことがあったら、おうちの人にすぐにいってください。ぐあいをよくするために、しんさつや ちりょうをします。

11. しんぱいなことはきいてください

せんせいの ^な 名まえとでんわばんごう	
びょういんの ^な 名まえ	くしろこうじんかいきねんびょういん
でんわばんごう	0154-39-1222
せんせいの ^な 名まえ	さいとう こうじ
たんとうの人	いさみ まゆみ

せつめいかくにんしよ

「かんさいぼう」のちりょうについて はなし を ききました。

きいた日： _____

な
名まえ： _____

はなしをした先生

はなしをした日 年 月 日

な
名まえ： _____

はなしをした人

はなしをした日 年 月 日

な
名まえ： _____